


2021年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2020年7月31日
(証券コード6157)

目次

2021年3月期1Qの業績

P. 3	・・・	第1四半期決算の概要
P. 4	・・・	営業利益の減益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	四半期業績推移

2021年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	第1四半期における進捗状況
P. 16	・・・	配当予想

参考資料

P. 18	・・・	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 19	・・・	投資指標
P. 20	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 21	・・・	I R 情報サイトのご案内

2021年3月期 第1四半期の業績



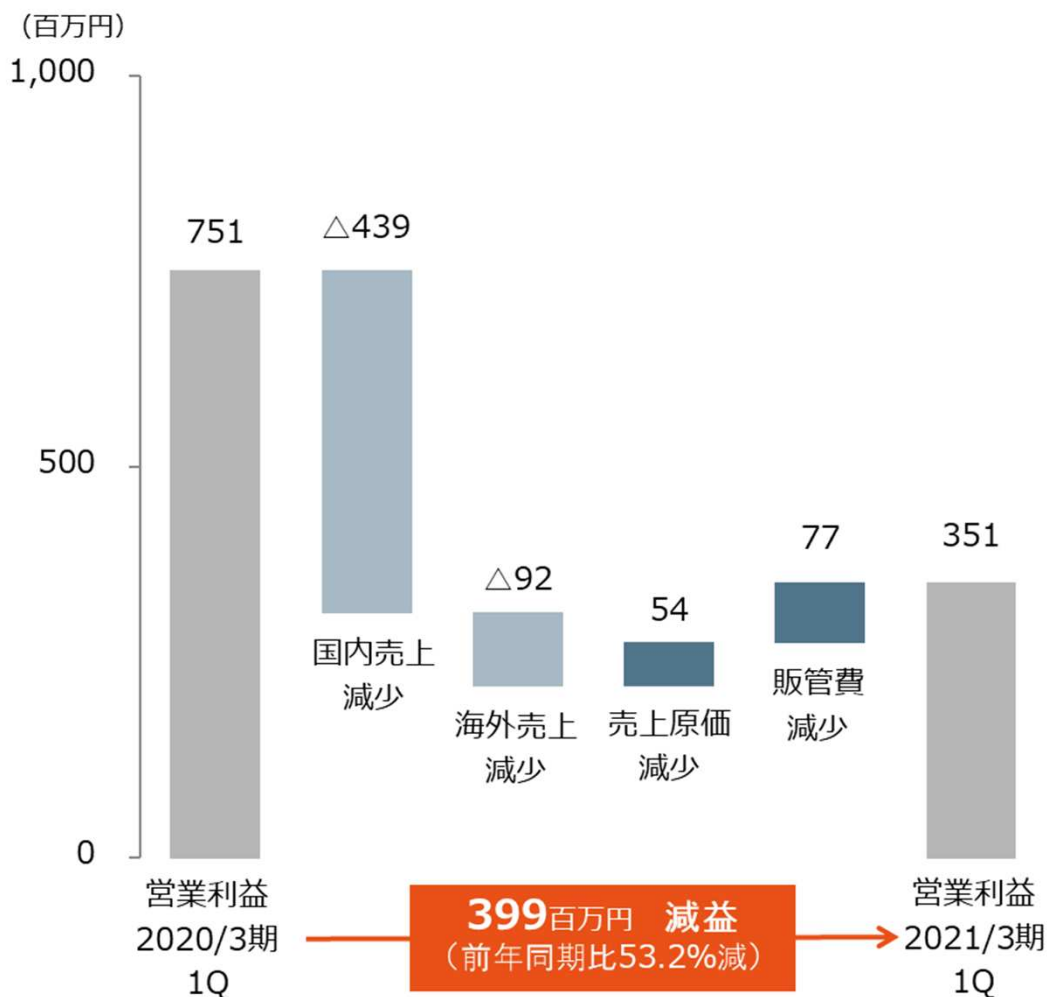
第1四半期決算の概要

新型コロナウイルスの影響から大幅な減収・減益

(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期	進捗率
	1Q実績	1Q実績	上期予想	
売上高	2,466	1,934	3,600	53.7%
前年同期比	-8.2%	-21.6%	-27.0%	
営業利益	751	351	280	125.7%
前年同期比	-3.4%	-53.2%	-77.8%	
経常利益	752	353	285	124.1%
前年同期比	-3.4%	-53.0%	-77.5%	
四半期純利益	481	232	163	142.6%
前年同期比	-1.2%	-51.7%	-80.4%	

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、製造業の多くが供給面と需要面から大きな影響を受け、工具需要も大きく減少。当四半期の連結売上高は1,934百万円と、前年同期比21.6%の減少となった。
- 連結経常利益は353百万円と同53.0%の減少。
- 売上高経常利益率は18.3%となり、同12.2ポイント下回った。
- 本日公表した上期の業績予想に対する進捗率は、売上高が53.7%、経常利益は第2四半期で赤字を見込んでいるため124.1%と上期予想を上回った。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比439百万円、24.7%の減少、海外が92百万円、同13.5%の減少となり、売上高全体では531百万円、同21.6%減少した。
- 材料費や外注加工費といった変動費が生産減により同3割程度減少したものの、労務費が同7.0%、製造経費が同3.0%の減少に止まり、当期製品製造原価は同18.9%の減少。また日進工具香港の連結にあたり、加算される1-3月期の原価が大きかったことから、売上原価は同54百万円、5.5%の減少に止まった。
- 販管費は新開発センターの稼働による減価償却費の増加や不動産取得税の発生があったものの、人件費や展示会費等が減少したことにより、同77百万円、10.9%減少。
- これらの結果、営業利益は同399百万円、53.2%減少の351百万円、売上高営業利益率は18.2%と前年同期の水準を12.3ポイント下回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率
売上高	2,466	1,934	-21.6%
売上総利益 対売上高比率	1,466 59.4%	988 51.1%	-32.6%
販管費 対売上高比率	714 29.0%	636 32.9%	-10.9%
営業利益 対売上高比率	751 30.5%	351 18.2%	-53.2%
経常利益 対売上高比率	752 30.5%	353 18.3%	-53.0%
四半期純利益 対売上高比率	481 19.5%	232 12.0%	-51.7%
設備投資額	743	118	-84.1%
減価償却費	166	175	+5.5%
従業員数(人)	343	345	+0.6%

- 売上高は1,934百万円と前年同期比21.6%の減収。新型コロナウイルスの影響により、自動車関連等多くの製造業で生産が減少し、工具需要に影響を及ぼした。
- 売上高の減少と原価率の上昇により、売上総利益は988百万円と同32.6%の減少となり、売上総利益率は51.1%と同8.3ポイント低下。
- 販管費は新開発センターの稼働による減価償却費の増加や不動産取得税の発生があったものの、人件費や展示会費が減少したため、同10.9%の減少。売上高販管費比率は32.9%と同3.9ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同53.2%減の351百万円、売上高営業利益率は18.2%と同12.3ポイント低下。
- 設備投資額は、前年同期にあった新開発センターの建設費等が無くなり、同84.1%減の118百万円。減価償却費は同開発センター等の償却が加わり5.5%増の175百万円。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2020年 3月期末	構成比	2021年 3月期1Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
流動資産	9,555	59.7%	9,182	59.3%	-3.9%
現金及び預金	5,784	36.1%	5,749	37.1%	-0.6%
受取手形及び売掛金	1,366	8.5%	1,077	7.0%	-21.1%
棚卸資産	2,201	13.7%	2,266	14.6%	+3.0%
固定資産	6,462	40.3%	6,305	40.7%	-2.4%
有形固定資産	5,748	35.9%	5,598	36.1%	-2.6%
無形固定資産	52	0.3%	45	0.3%	-13.8%
投資その他の資産	661	4.1%	661	4.3%	+0.1%
資産合計	16,017	100.0%	15,488	100.0%	-3.3%
(負債の部)					
流動負債	1,265	7.9%	815	5.3%	-35.5%
買掛金	208	1.3%	212	1.4%	+2.0%
固定負債	254	1.6%	254	1.6%	-0.2%
負債合計	1,519	9.5%	1,069	6.9%	-29.6%
(純資産の部)					
自己資本合計	14,374	89.7%	14,297	92.3%	-0.5%
純資産合計	14,498	90.5%	14,418	93.1%	-0.5%
負債・純資産合計	16,017	100.0%	15,488	100.0%	-3.3%

流動資産

売上高の減少により売掛金が減少したこと等から前期末比3.9%減少。

固定資産

大きな設備投資も無く減価償却費が上回り、同2.4%減少。

負債

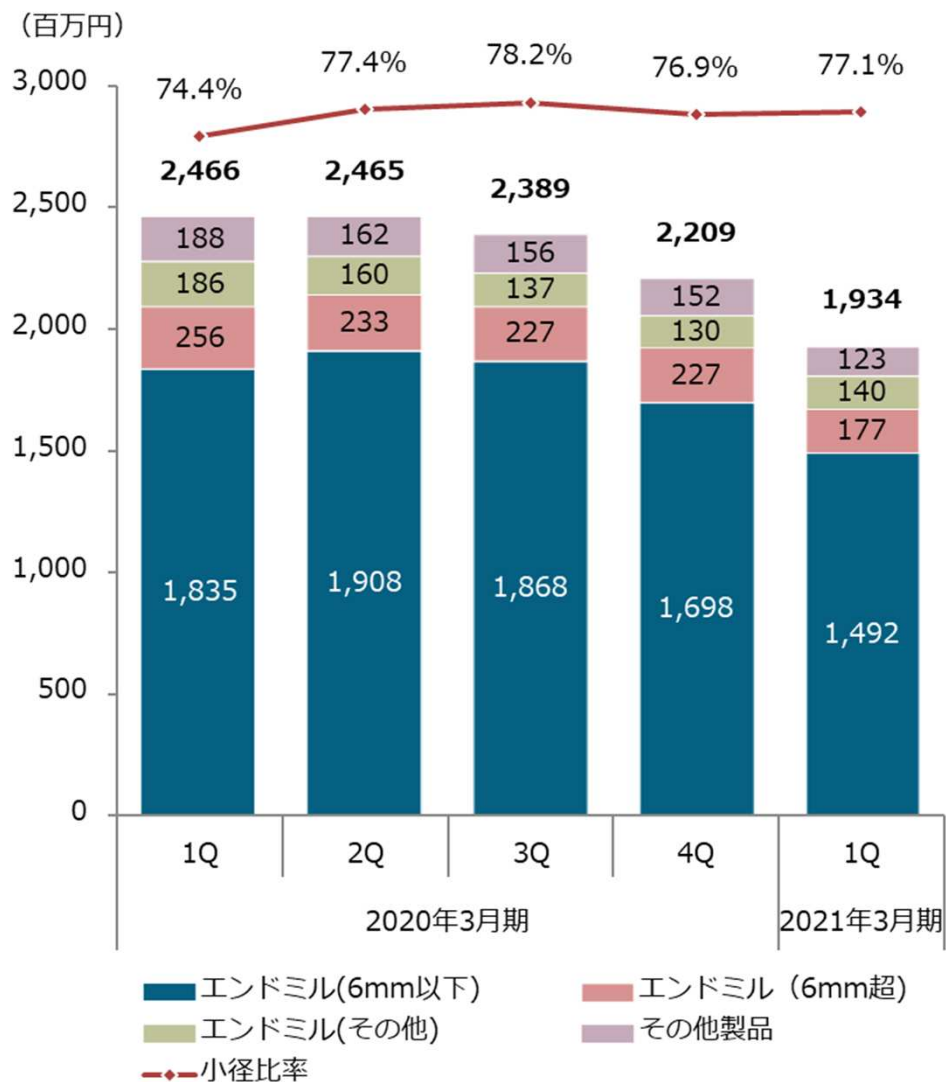
未払法人税等や役員賞与引当金の減少等により、同29.6%の減少。

純資産

利益剰余金の増加や配当金の支払い等から同0.5%減少したが、負債の減少により自己資本比率は92.3%と2.6ポイント上昇。

四半期業績推移（売上高の推移 製品別）

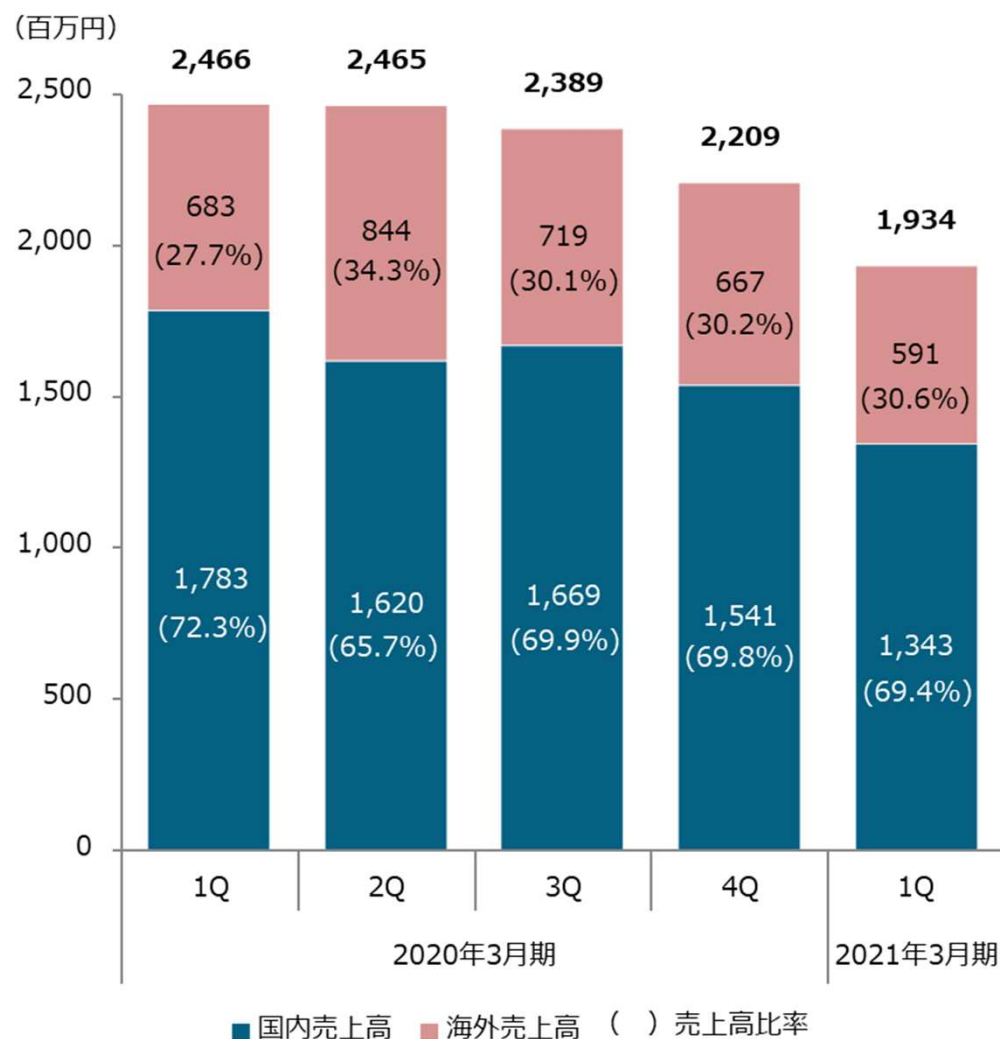
製品別売上高と小径比率の推移



- 新型コロナウイルスの影響により、国内における4-5月の自動車生産台数が6割強の減少となったほか、スマートフォンの販売下振れや主力機種の高産開始の遅れから電子・デバイス関連も減速傾向となり、小径工具需要は大きく減少した。連結四半期売上高は1,934百万円と前年同期比21.6%の減少、前四半期比でも12.4%の減少であった。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）は需要環境の悪化から前年同期比18.7%減少したほか、エンドミル（6mm超）は同30.9%の減少。またユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）も同24.4%減少し、工具ケース等のその他は同34.3%減と最も減少幅が大きかった。エンドミル（6mm以下）以外の落ち込みが相対的に大きかったことから、小径比率は77.1%と同2.7ポイント上昇した。

四半期業績推移（売上高の推移 国内・海外）

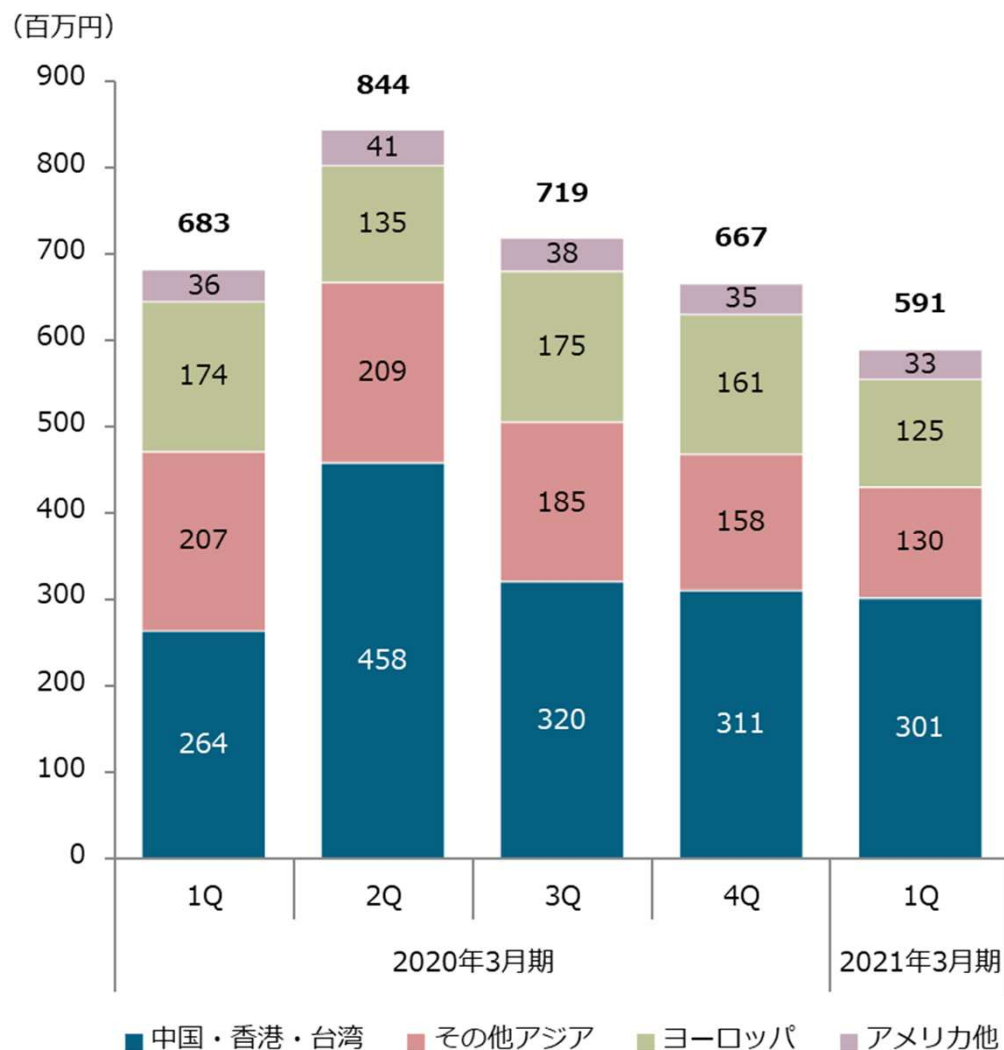
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期の水準から439百万円、24.7%減少し1,343百万円、海外売上高は同92百万円、13.5%減少し591百万円であった。
- いずれも前年同期を下回ったが、国内売上高の減少率が大きかったため、海外売上高比率は2.9ポイント上昇の30.6%となった。

四半期業績推移（売上高の推移 海外地域別）

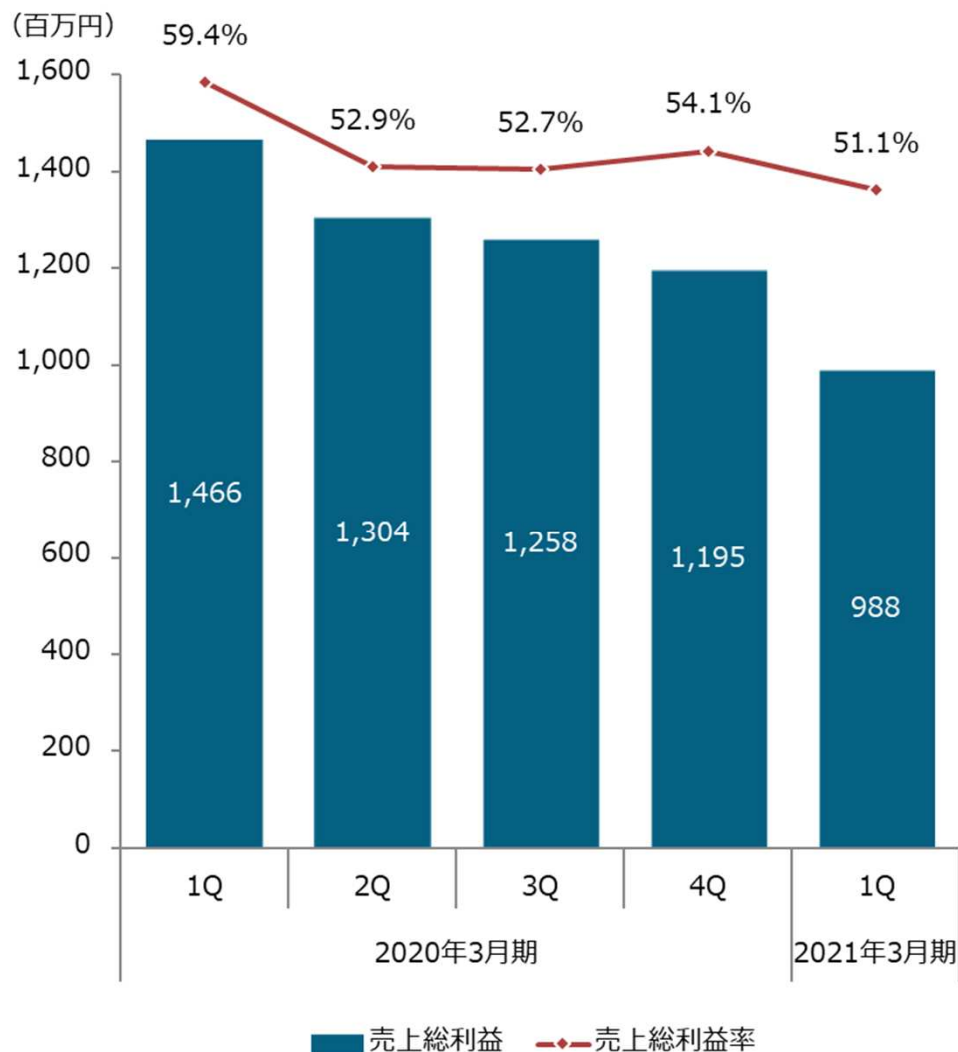
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比14.2%の増加、日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月分となり、春節もあって例年少ない時期となる。今年は、2月は春節や新型コロナウイルスによる都市封鎖の影響から少なかったが、3月は一部での挽回生産や工具の供給ストップに備えた在庫買いがみられ、そこそこの販売となった。
- その他アジアは同37.0%の減少、この地域では自動車関連が多く、他地域に比べ減少幅が大きくなった。
- ヨーロッパも自動車や機械関連が多く、同28.2%の減少。
- アメリカ他は同8.7%の減少に止まったが、そもそも絶対額が少ない状況。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

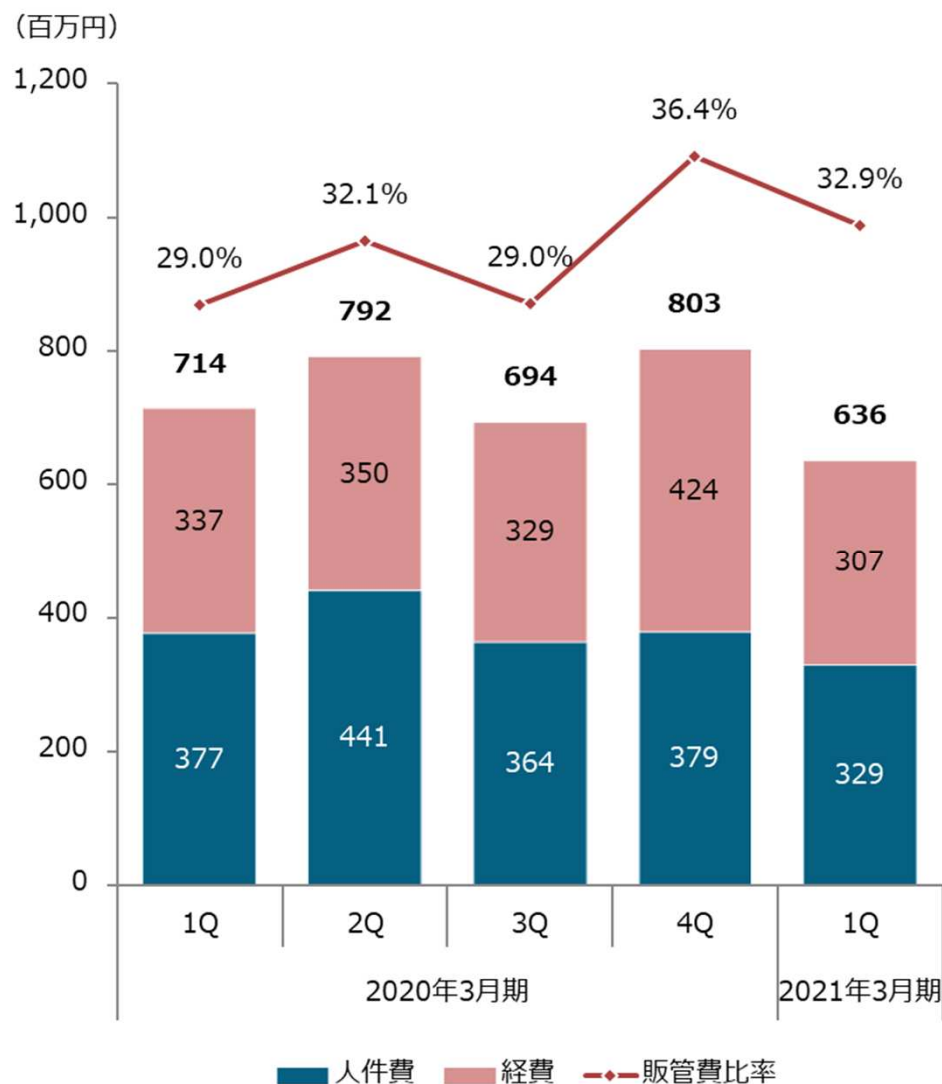
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上高の減少により生産量を抑えたことから、材料費が前年同期比34.2%減、外注加工費が同30.1%減と変動費は減少したが、労務費は同7.0%減、製造経費は同3.0%減に止まり、当期製品製造原価は同18.9%減となった。加えて日進工具香港の連結期間のずれにより売上原価が嵩み、同5.5%減と売上高（同21.6%減）に比べ僅かな減少に止まった。
- これにより売上総利益は同32.6%減の988百万円、売上総利益率は51.1%と同8.3ポイント低下した。
- なお、7-9月の日進工具香港の売上高は4-6月と同水準と想定しており、第2四半期では今回のような連結における期ズレの影響は少ないと考えられる。

四半期業績推移（販管費の推移）

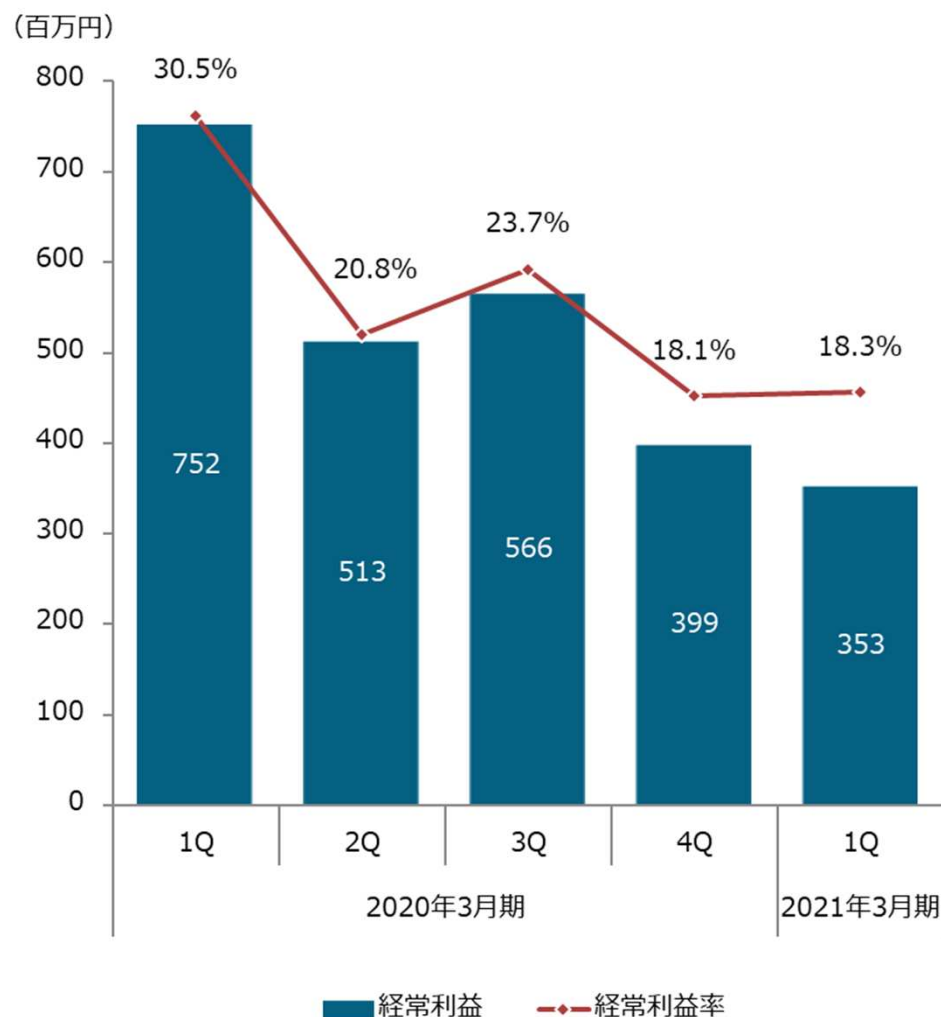
販管費と販管費比率の推移



- 販管費のうち一般経費は、新開発センターの稼働により減価償却費が増えたことや、同センターの不動産取得税の計上等があったものの、展示会の中止や出張・営業活動の自粛等から、展示会費や旅費交通費、交際費等が減少したことから、前年同期比8.9%減の307百万円。
- 人件費では、従業員に対しコロナ禍に関する臨時支給を行ったことにより従業員給与が増えた一方、業績の悪化に伴い役員賞与引当金を計上しなかったことや賞与引当金が減少したこと等により、同12.7%減の329百万円。
- 販管費全体では同10.9%減の636百万円となったが、売上高の減少が大きく、売上高販管費比率は32.9%と同3.9ポイント上昇。
- なお、役員退職慰労金を廃止し、株式報酬型ストックオプションを導入していることから、1年分の株式報酬費用が第2四半期に計上される。

四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 前年同期比21.6%の減収となったことに加え、原価率や販管費比率が上昇したため、営業利益は同53.2%減の351百万円と大きく減少。
- 営業外損益では収益が費用を2百万円弱上回ったことから、経常利益は353百万円、同53.0%の減益。
- 売上高経常利益率は18.3%とプライベートショー開催により販管費が嵩んだ前四半期の水準は僅かに超えたものの、前年同期が極端に高かったこともあり同12.2ポイント減と大きく低下した。

2021年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,531	-	-
営業利益	2,219	-	-
経常利益	2,231	-	-
当期純利益	1,545	-	-

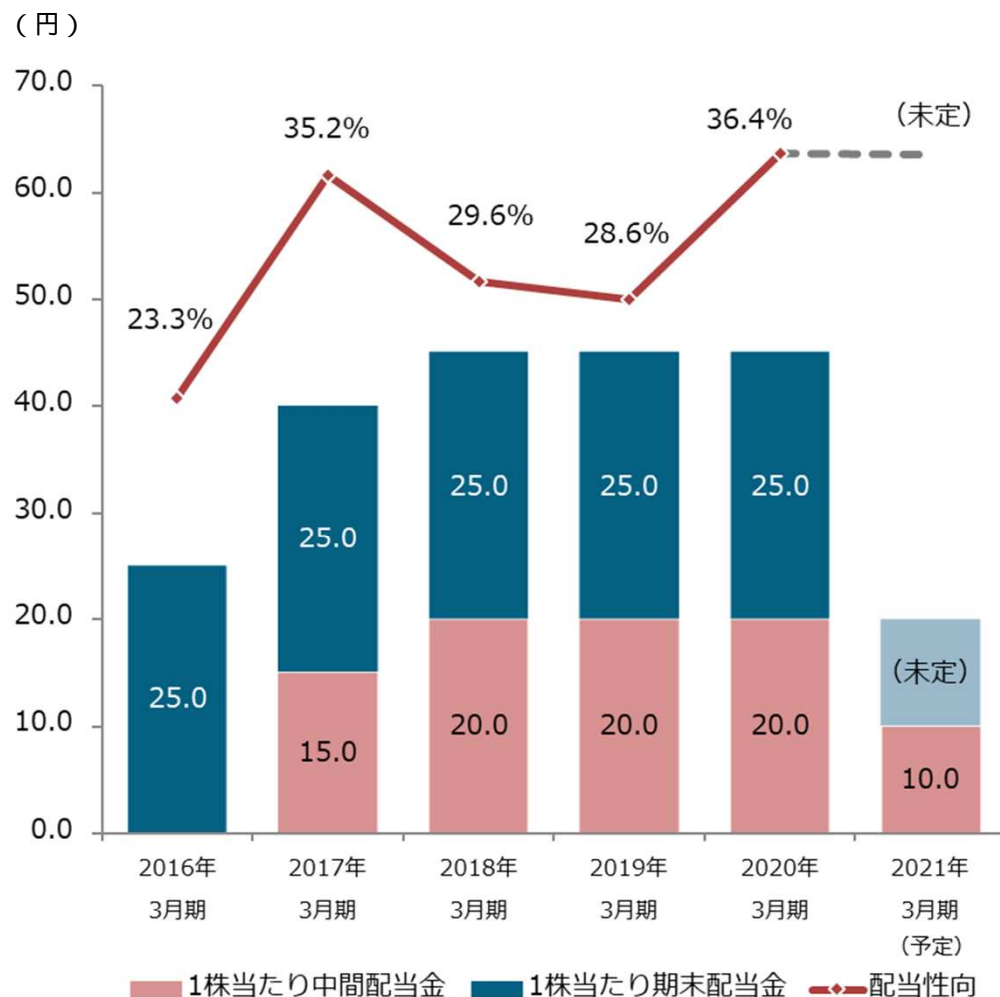
設備投資額	1,755	613	-65.0%
減価償却費	698	723	+3.5%
EPS (円)	123.62	-	-
1株当たり配当金 (円)	45.00	-	-

- 我が国を含め再び新型コロナウイルス感染症の拡大が進むなか、経済情勢は当面厳しい状況が続くと思われ、自動車関連を始め、多くの製造業でも生産の抑制が続き、工具需要も低迷すると想定される。当社でも生産数量抑制のため工場勤務者の帰休を含め更なる減産対応を行う予定であり、それにより原価率も上昇することから、利益面では売上高以上に厳しいと思われる。なお通期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の終息見通しや、社会・経済状況の先行きがある程度判断できる状況になる等、合理的な業績見通しの判断が可能となった時点で発表予定。
- 設備投資は、自動化等、製品品質や生産効率の向上を図る機械設備の導入が中心。20年3月期は新開発センターの竣工等から多額となったが、21年3月期はほぼ例年の水準となる見込み。
- 1株当たり中間配当金については、昨年度の20円に対して、業績の悪化により10円を予定。期末配当については、通期の業績予想とともに未定としている。

第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2021年3月期				
	1Q実績	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高	1,934	3,600	53.7%	-	-
前年同期比	-21.6%	-27.0%		-	
営業利益	351	280	125.7%	-	-
前年同期比	-53.2%	-77.8%		-	
経常利益	353	285	124.1%	-	-
前年同期比	-53.0%	-77.5%		-	
当期純利益	232	163	142.6%	-	-
前年同期比	-51.7%	-80.4%		-	

配当予想（株主還元について）



2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元

- ・ 2020年3月期の1株当たり年間配当金は45円。
中間配当20円、期末配当25円
配当性向は36.4%
- ・ 2021年3月期の1株当たり中間配当金は10円を予定。
期末配当金は、合理的な業績見通しが開示できないことから、現時点では未定。
- ・ 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、1単元（100株）以上を保有する株主様を対象にオリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を追加で贈呈。

參考資料

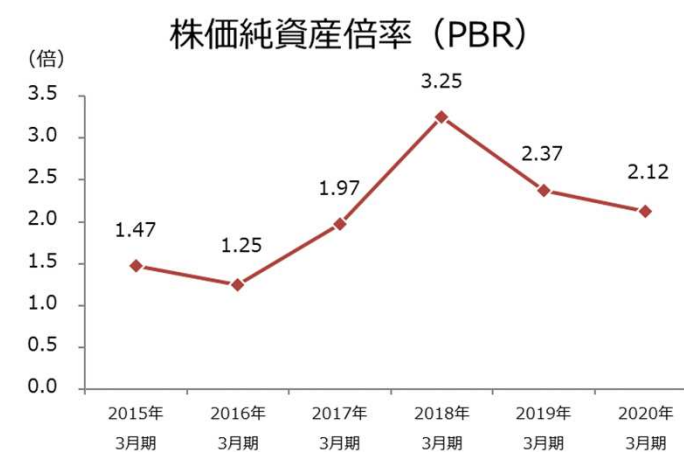
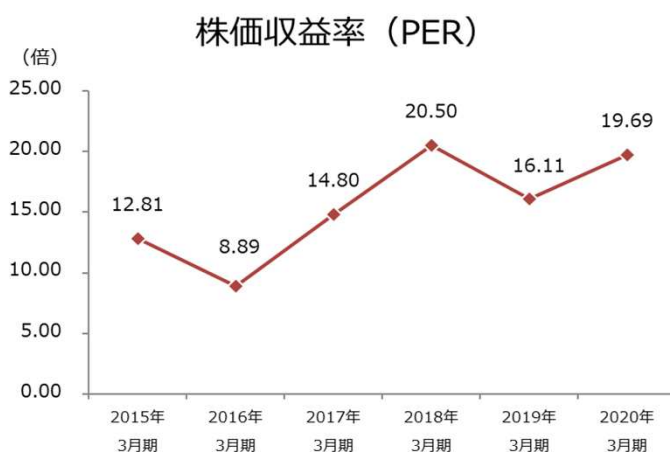
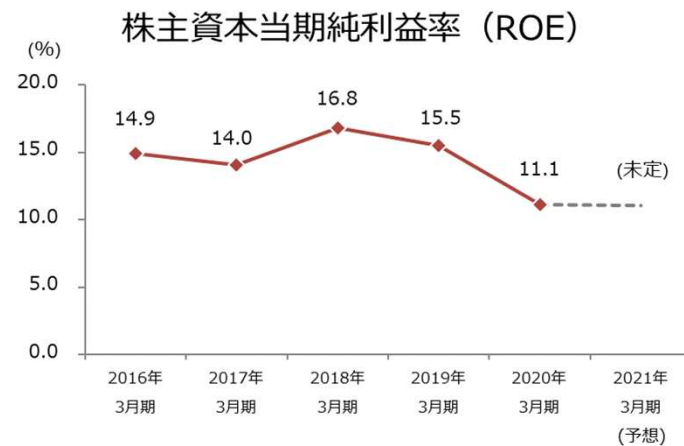


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績
売上高	8,382	8,825	9,767	10,476	9,531
営業利益	1,914	2,013	2,695	2,879	2,219
営業利益率	22.8%	22.8%	27.6%	27.5%	23.3%
経常利益	1,954	2,026	2,733	2,894	2,231
経常利益率	23.3%	23.0%	28.0%	27.6%	23.4%
当期純利益	1,342	1,420	1,903	1,970	1,545
当期純利益率	16.0%	16.1%	19.5%	18.8%	16.2%
有利子負債額					
純資産額	9,569	10,666	12,002	13,461	14,498
総資産額	11,371	12,517	14,467	15,381	16,017
自己資本比率	84.2%	85.2%	83.0%	87.1%	89.7%
設備投資額	1,295	774	663	1,268	1,755
減価償却費	505	632	625	629	698
1株当たり配当金(円)	25.00	40.00	45.00	45.00	45.00
従業員数(人)	280	322	338	343	338

2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2020年7月）



バリュエーション（2020年7月28日現在）

売買単位	100株
時価総額	333億円
ROE (20/3期実績)	11.1%

単元株価格	26万6,600円
PER (20/3期実績)	21.57倍
PBR (20/3期実績)	2.32倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL website's IR information page. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation is a breadcrumb trail 'TOP > IR情報'. The main header area features 'Investor Relations' and 'IR情報' with the stock code '東証一部 コード: 6157'. The page is divided into two main sections: 'IRトピックス' and 'IRニュース'. The 'IRトピックス' section lists recent documents, including a 2020 Q3 Business Report and a notice regarding the 59th shareholder meeting. The 'IRニュース' section features a 'NEW 適時開示' notice about a stock option grant. On the right side, there is a vertical 'IR情報' menu with items like 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', and expandable categories for '経営方針・体制', '事業戦略', '業績・財務情報', 'IRライブラリー', and 'IRイベント'. A '株式情報' link is partially visible at the bottom.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員	経営企画室長	田島	寛
管理部	経理課課長	今関	弘毅
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。